

千福ニュータウン団地施設管理組合 第14回理事会（定例）議事録 概要

開催日：2022年4月16日（土） 15：00～17：00

場所：自治会館

出席者（敬称略）：理事：青木 酒井 小泉 山内 縄巻 中嶋（記）

監事：藤永 森田

欠席者（敬称略）：なし

I 議事

1. 定例議題

1.1. 理事長

青木理事長より、定期総会の三つの議案の承認を決議願いたいとの依頼がなされた。議案書を審議し、以下を決定した。

【議案書】

⇒ 第1号、第2号、第3号議案ともに承認された。

【添付資料】

①『千福が丘污水处理施設の将来検討会 2021年度報告 概要』は、本検討会を実施するに至った経緯、目的、前提、将来構想や検討結果のまとめを 2 ページ程にまとめた。検討結果のまとめは以下。

- | |
|--|
| <p>① 処理場設備はオーバーホールや更新などの適切な保全を行なっていけば、30年程度（±10）は稼働できる。</p> <p>② 処理場施設を流入量に応じた適正な処理能力にすることで、運用コスト削減が可能。</p> <p>③ 現処理場が寿命となる将来の全面的なリニューアルについては、地区内へ大規模浄化槽を分散設置する、最新の処理方式に変更するなどが考えられる。</p> <p>④ 少量の汚水を長い距離の污水管で集めることは、管路の保全コスト増加、降雨時侵入水の増加等の問題点がある。污水处理の分散化を進め、管路長の削減を図る。</p> <p>⑤ 将来の全面的なリニューアルに向けて、組合員と行政を含む関係者の合意、資金面での裏付け等を図ってゆく。</p> |
|--|

1-2. 施設（山内理事）

山内理事から施設業務の報告がなされた。

【保全管理実施事項】

- ① 3月17日に処理場の建屋中央部分の躯体接合部付近の床下で汚水が滲み出ている個所が検出された。初期状態で補修可能ということで見積依頼中。
- ② 3月22日に処理場の道路を挟んだ北側斜面の枯れ木が倒れて電線を切断したため、約1090軒で3時間弱の停電が発生した。土地所有者に、施設の修繕費用全額支出と再発防止策の早急な実施を依頼し、処理場修理は4月26日までに、立ち枯れの処理は5月中に終了する予定。

- ③ 4月4日に処理場の目視点検を実施した。その結果、処理場外の配管の継ぎ目からの漏水を確認した。倒木で破損した屋根から雨がまわっている可能性があり、経過観察中。また、処理場の外壁のクラックが少し拡大。倒木の衝撃の可能性はあるが、コーキング処理で補修を行なう。
- ④ 処理場の竹林伐採済み竹の搬出処分については、複数の業者に見積依頼中だが、数十万円と高額になりそうなので、機器をレンタルして理事によるチップ化とチップの周辺散布も検討する予定。

【企画項目実施事項】

- ① 下水道管路保全業務としては、2021年度管路調査・改築 管理組合集約報告書作成。

【決議・合意事項】

- ① 組合員より、従業員減少のため利用口数見直して3口を1口に減少したいとの依頼があった。3口に決めたときの計算式にあてはめると0.6口となり、1口は妥当と思われる。
⇒承認された。明らかに口数見直しが必要と思われるところは、今後、見直す。

1-3. 会計（縄巻理事）

縄巻理事から、3月度会計報告、年間収支実績、決算書、現金・預貯金 残高明細、予算書の報告がなされた。

【収支の進捗状況と修正予算年間収支実績、決算書、現金・預貯金 残高明細】

⇒承認された。

【来期の予算について】

来年度の予算の内、管理費等費用の事務所運用費を464万円で計画したが、自治会より支払金額が773万円で提示されたので暫定的に223万円とする。 ⇒承認された。

1-4. 生活サポート（小泉理事）

小泉理事から、生活サポート業務報告がなされた。もしも事務所を移転するとなると、銀行に住所変更届を出す必要があるが、銀行から理事会の議事録が必要だと言われたので、理事会で決議願いたいとの依頼があったが、事務所を引越すとは決まっていないので、決議せず。

1-5. 書記（中嶋理事）

【定期総会開催日程】

中嶋理事より、定期総会迄の日程案の修正版が示された。

⇒次回の定例理事会は5月14日の15時から行なう。

⇒最終版チェックは、青木理事長が最終版を17日に中嶋理事に送付し、中嶋理事がそれを反映し、みなさんに最終確認依頼する。

次回 5月14日（土）15：00～17：00 自治会館
以上（青木理事長、酒井副理事長、小泉理事承認済 署名・押印省略）